

## 事業所名 なかよしホームらく

### 運営推進会議開催報告書

開催日時 令和8年1月28日(水) 14時00分~15時00分						
参加者			議題			
利用者	0名	1	利用実績について			
利用者家族	0名	2	変化のあった方について			
地域住民の代表者	1名	3	行事・勉強会について			
市職員	1名	4	その他			
地域包括支援センター職員	1名					
事業所	2名					
その他	0名					
会議録						
1 利用実績について						
<<介護度別利用者数>>						
	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
11月	7人	5人	3人	0人	3人	18人
12月	7人	5人	3人	0人	3人	18人
<<サービス別延べ利用回数>>						
	通い	訪問	訪問看護	泊まり		
11月	308回	90回	45回	144回		
12月	291回	89回	32回	146回		
2 変化のあった方について						
前回の運営推進会議から、特に変化のあったご利用者様について、報告しました。						
3 行事・勉強会について						
・11月   ・地域の方とふれあい						
・誕生日会						
・12月   ・誕生日会						
・クリスマス会						
・11月   認知症について						
・12月   身体拘束廃止について、高齢者虐待防止について						

#### 4 その他

瀬戸市高齢者福祉課指導監査係より

インフルエンザB型が北側の学校で流行っている。

また、コロナが少しずつ増えているので、皆様体調管理にご注意ください。

ふたば地域包括支援センターより

3月15日にマルシェを行います。

初めての試みのため、どうなるかわかりませんがよかったらご参加ください。

身体拘束委員会

○下肢筋力の低下のためか、座ろうとするとき、トイレに座っているときなどに転倒のリスクが大きい方。要介護4の方で、歩行は50～100m可能だがふらつきあり、見守り必要。

○理解力、認知機能は低下してきているが受け答えははっきりしてる。

尿意はあり。

転倒の危険性があるため、トイレ内での常時付き添いが必要。

○机等から一人で立ち上がれないようにしてしまうという身体拘束につながりかねない。

・拘束をする理由としては見守りが手薄な時に本人の離席等に気が付かず、見守りがいない状態で歩いてしまい、転倒を回避できない。

以上の身体拘束をしないためにもどのような対応をしたらよいかの意見を集めました。

日中 立った時にわかるように椅子に音が鳴るようなものをつける。

夜間 音が鳴るものを鳴らしてもらったり、センサーマットを使用し、離床したことをわかるようにする。

自己評価について

今年度の自己評価を運営推進会議で意見をもらうため、取り組みや自己評価を

みてもらい、来月までに意見をもらい、次回の運営推進会議で次回の目標をたて、

その目標に対して再び意見をもらい、自己評価の提出を行う予定となりました。

次回運営推進会議の予定 令和8年3月25日(水) 14時00分～